

農業に携わる人

三田市議会を **X** もっと身近に

こんなコトを
しています。

市議会

三田市の基幹産業と言える農業。この農業に携わる人たちにお話を聞きたいという思いから、今回は三田市農業委員会の皆さんとの対談が実現。三田市の農業を元気にし、おいしく安全・安心な生産物を未来に届けるため、生産者、消費者、そして市、市議会はどうかかわるべきでしょうか。

三田市の印象は？

「ニュータウンができた当時は、それまでの村社会との関係がどうなっていくのかと心配しましたが、現在はうまくバランスがとれていると思います。またニュータウンは農地を減らすことなく山間部を切り開いて開発されましたので良い都市構想だったと思います」
「生まれも育ちも三田市です。山も川も、田んぼもある大変好きなまちです。ここに生まれて良かったなと感じながら農業に勤しんでいます。」



市外から訪れる方からも「三田市は自然の豊かさと整備されたまち並みのバランスが良く、とてもきれいですね」とおっしゃっていただくことがあります。私たち市議会議員は行政視察で全国の市町を訪問していますが、三田市は都市部と農村部、また歴史の風情を残すまちなみとの調和がとれたまちだと感じています。

これからも市議会では、自然環境の保全や美しい景観を保ちながら、新しいまちづくりができるよう努めてまいります。



「三田に生まれてよかった」

市政や議会ってどう？

「市長が農業は三田の基幹産業だとおっしゃっていますが、国の農業施策を地域（市）が農家とつないでいるだけというのが実情だと思います。今農業施策には地域ビジョンが求められています。ぜひ市議会の皆さんには、三田市独自の地域ビジョンを明確にして、多くの市民の方に知っていただくような取り組みをお願いします。」
「農業従事者と消費者などが集まってこれからの農業について意見交換する『農業フォーラム』を開催していただきたい。」

おっしゃるとおり、これからの市の農業がさらに発展していくためには、三田市の農産物がおいしく、安全・安心であるという事実を広くPRし、同時に流通ルートの拡大や、安定供給するしくみづくりをすすめていく必要があります。そうすれば三田市の農産物の魅力はさらにアップし、ブランド力を高めることができると考えています。



ご提案の「農業フォーラム」は市民の方に市の農業の課題や、農産物の魅力を再認識していただく機会

になると思われます。フォーラムの成果は市の地域ビジョンのヒントとなり、農業施策にもつながりますので、開催に向け働きかけます。

「三田市には『地産地消』を推進できる環境がそろっています。市民の皆さんに少しでも三田の生産物を消費してもらえよう、食育の強化も大切です。また『うど』や『さんだ米』など、市の特産品の充実や改良にも力を入れるべきだと思いますが、市議会ではどのような支援をお考えですか？」

安全で栄養価の高い生産物を地元で購入できることの意義を消費者が実感し、「食」に関する知識と「食」を選択する力を習得する「食育」は、地産地消の取り組みをすすめる上で不可欠であると考えています。

平成23年3月1日に施行された「地域資源を活用した農林漁業者等による新事業の創出等及び地域の農林水産物の利用促進に関する法律」（六次産業化法）の周知や、農産物の加工品



など新商品の開発や販路拡大に取り組むよう市に働きかけます。

「最近市長が提案した施策について、市議会からの働きかけがあまりないままに決まってしまうことがあるように思いますが？」

ご指摘の件については、議会のあり方の課題として認識しています。市民の方のご意見をしっかりと聞き、責任を持って市政に生かす判断をするのが市議会の基本ですが、現在さらなる活性化を図るべく、独自の政策立案や提言を行ったり、市民との意見交換の場を持つことなどを定める「議会基本条例」の制定に向け鋭意取り組んでいます。

新しくなった「つなぐ」はどう？

「農業に関連する質問などの記事が少ないのでは？」
「文字サイズはもう少し大きいほうがうれしいですね」



限られた紙面ですので、議員のしつもん（3月定例会は5ページから）全てを掲載することは難しいのが現状です。注目度が高い内容や、成果の明確な答弁内容などを優先しています。今後はテーマが偏らないよう注意しながら農業関連の記事も掲載できるよう調整していきます。

文字サイズはもう少し大きくしたいと常に考えていますが、そのためには文字数を減らさなければなりませんので、説明不足にならないようバランスをとりつつ、読みやすい紙面づくりに努めてまいります。



説明 地域資源を活用した農林漁業者等による新事業の創出等及び地域の農林水産物の利用促進に関する法律

「六次産業化」とは、農産物の生産（1次産業）だけでなく、食品加工（2次産業）、流通・販売等（3次産業）にも農業者が主体的、総合的に関わることで付加価値を得ることができる取り組みを言います。具体的には①農業生産法人、農業者が加工施設を新設し、新たな商品を開発、販売する。②農業生産法人、農業者が自らの農作物を使った直営レストランを立ち上げる。③森林組合と地元の温泉が連携してバイオマスボイラーを導入する。などをサポートします。